シラバス（授業内容）

インナービューティ科　2年

ネイリスト専攻

学校法人　中村学園
アイエステティック専門学校

シラバス（授業内容）

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	P2F	
1年単位	前期	15 時間	後期	30 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	－	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。 1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					

＜授業計画＞		前 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1	お礼状の作成	Word お礼状の作成
第2回	2	画像の編集と加工	Word Officeのフォトレタッチ機能
第3回	3	図の挿入と図形の活用	Word 図の挿入と図形の活用
第4回	4	PowerPoint復習	PowerPoint復習
第5回	5	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成
第9回	9	作表とワークシートの操作	Excel オートフィルの復習、ワークシートの操作
第10回	10	予約表の作成	Excel 予約表の作成
第11回	11	グラフ機能	Excel グラフ機能
第12回	12	データベース機能	Excel データベース機能
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振返り

初回持ち物	教科書、クリアファイル、筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	宮﨑 愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	オリエンテーション	授業の目的と狙い・講師紹介と学生自己紹介
第2回	2	働くことの意味について考える	学ぶこと・働くことの意義や役割を考えよう
第3回	3	ストレスコントロール術	そもそもストレスとは？脳とストレスの関係
第4回	4		ストレスの受け取り方・受け流し方を知ろう
第5回	5	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは
第6回	6		怒り感情のコントロール方法（自己理解）
第7回	7		怒り感情との向き合い方・対処法（他者理解）
第8回	8		クレーム対応／クレームの考え方
第9回	9	Highly Sensitive Personについて	Highly Sensitive Personについて(HSP・HSS診断テスト)
第10回	10		HSS・HSPとの付き合い方、接し方
第11回	11	キャリアデザイン	未来の自分を想像する／中長期的な目標設定
第12回	12		PREP法で伝えよう
第13回	13		個々の発表
第14回	14	試験	期末試験
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説

初回持ち物	なし

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	宮﨑　愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	できるビジネスパーソン	マナーを身につけ、今から実践する意味を考えよう
第2回	2		上品さとは？好感を持たれる”見た目・ふるまい・話し方”①
第3回	3		上品さとは？好感を持たれる”見た目・ふるまい・話し方”②
第4回	4	傾聴力／雑談力	新社会人に必要なのは傾聴力「聴く力の重要性」
第5回	5		雑談力を鍛えよう「人間関係がよくなる雑談の心構え」
第6回	6		傾聴力と雑談力を伸ばそう
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション
第8回	8		アサーティブに表現する
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に”ありがとう”を伝える
第14回	14	試験（対面）	後期 期末試験
第15回	15	試験解説・まとめ（対面）	試験解説・まとめ

初回持ち物	なし

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	就職ガイド			クラス名	P2F	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	安藤　恵					
	実務経験	―	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動で必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。 また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来の キャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		前　期	
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	面接練習	就職活動進捗確認・面接練習
第2回	2		面接練習
第3回	3		面接練習
第4回	4	一般常識	SPI・GAB対策
第5回	5		適性検査・一般常識対策
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッション対策
第7回	7		グループディスカッション練習
第8回	8	社会人とは	新社会人に求められるもの
第9回	9	ビジネスマナー	ビジネスマナーがなぜ必要か
第10回	10	コミュニケーション	コミュニケーションの種類～ノンバーバル～
第11回	11		コミュニケーションの種類～バーバル～
第12回	12	サービス接遇	サービスマナー・慣用句
第13回	13	働くことの意義	○○○で働くことの意義
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	モチベーションコントロール	モチベーションアップから得られるもの

初回持ち物	筆記用具・就職ファイル

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	イベントプロモーション			クラス名	P2F	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	担任					
	実務経験	－	－			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3 4/12（水）	各目標決め	クラス目標／個人目標／リーダー・サブ決め／SAM選出
第2回		コミュニケーションスキル①	自分・みんなの印象
第3回		コミュニケーションスキル②	マシュマロチャレンジ
第4回	4－8 9/8（金）	スポーツ大会	出場競技決め ルール説明・確認
第5回			
第6回		学園祭① （1・2年生合同）	学園祭：出店概要、希望使用教室について 各担当、内容決め 貸出備品リスト作成／購入予定リスト作成 アンケート
第7回			
第8回			
第9回	9－11 9/11（月）	学園祭②	学園祭準備 接客マニュアル（流れ）、技術マニュアル、メニュー 作成物（看板、ビビットビューアー、チラシ、予約表、予約カード等）
第10回			
第11回			
第12回	12－15	スポーツ大会	スポーツ大会本番
第13回			
第14回			
第15回			

初回持ち物	筆記用具、AIEノート

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	イベントプロモーション			クラス名	P2F	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	担任					
	実務経験	－	－			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－3 11/1(水)	学園祭準備	設営、リハーサル
第2回			
第3回			
第4回	4－6 11/2(木)	学園祭①	学園祭当日
第5回			
第6回			
第7回	7－9 11/3(金)	学園祭②	学園祭当日
第8回			
第9回			
第10回	10－12 2/27(火)	FUS準備	FUSリハーサル
第11回			
第12回			
第13回	13－15 2/28(水)	FUS	FUS本番
第14回			
第15回			
初回持ち物	筆記用具、AIEノート		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ネイルケア			クラス名	P2F	
1年単位	前期	45 時間	後期	90 時間	1年合計単位	135 時間
2年単位	前期	90 時間	後期	45 時間	2年合計単位	135 時間
担当講師	川添ゆり香					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験経験を活かし、 ネイルの基礎、技術を伝えていく。			
目的及び概要	ネイルケアの技術の根幹であるネイルケア、検定対策など技術力、応用力を身につける。					
到達目標	爪に関する専門的な知識を身につけ、JNEC1級内容習得、JNAジェルネイル技能検定中級、上級習得。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－6	ネイリスト検定2級対策	検定直前に適したネイル技術の最終確認
第2回	7－12		
第3回	13－18	JNAジェル検定中級対策	●ジェルネイル技術の基本となるネイルケアの秘術工程身に付ける ●美しいカラーフレンチ、グラデーションジェルを塗布する為に適したネイルケアを身に付ける
第4回	19－24		
第5回	25－30		
第6回	31－36		
第7回	37－42		
第8回	43－48	JNEC1級検定対策	●スカルプチュアの為のネイルケア、技術、応用力の習得を目指し1級修得に向けて技術力を身に付ける ●1級修得の為の総合トレーニング
第9回	49－54		
第10回	55－60		
第11回	61－66		
第12回	67－72		
第13回	73－78		
第14回	79－84		
第15回	85－90		

初回持ち物	初回は2級検定道具一式

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ネイルケア			クラス名	P2F	
1年単位	前期	45 時間	後期	90 時間	1年合計単位	135 時間
2年単位	前期	90 時間	後期	45 時間	2年合計単位	135 時間
担当講師	川添ゆり香					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験経験を活かし、 ネイルの基礎、技術を伝えていく。			
目的及び概要	ネイルケアの技術の根幹であるネイルケア、検定対策など技術力、応用力を身につける。					
到達目標	爪に関する専門的な知識を身につけ、JNEC１級内容習得、JNAジェルネイル技能検定中級、上級習得。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	１－３	イクステンションに必要なケア	JNEC1級受験に向け、プレパレーションの見直し
第2回	４－６	総合トレーニング	ネイルケア～アクリルイクステンション （タイムトライアル）
第3回	７－９		
第4回	１０－１２		
第5回	１３－１５		
第6回	１６－１８	検定対策	総合トレーニング
第7回	１９－２１		
第8回	２２－２４		
第9回	２５－２７		
第10回	２８－３０		
第11回	３１－３３	総合トレーニング	サロンスタイルでの練習
第12回	３４－３６		
第13回	３７－３９		
第14回	４０－４２		
第15回	４３－４５		

初回持ち物	１級教材一式

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ネイル検定対策			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	135 時間	1年合計単位	135 時間
2年単位	前期	105 時間	後期	120 時間	2年合計単位	225 時間
担当講師	平光 真理					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	・公益財団法人 日本ネイリスト試験センター（JNEC）1級 内容習得 ・NPO法人 日本ネイリスト協会　ジェルネイル技能検定試験中級、上級内容習得					
到達目標	爪に関する専門的な知識を身につけ、カウンセリングが実践出来るよう、専門知識の幅を広げることを目標とし、技術と知識のバランス力をつける。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－7	基本ケア	JNAジェル検定中級にむけての基礎理論、試験内容の確認
第2回	8－14	中級検定について	試験内容の確認、デモストレーション
第3回	15－21	JNAジェル検定中級対策	ジェルスカルプチュア
第4回	22－28		ジェルグラデーション
第5回	29－35		ジェルフレンチ
第6回	36－42		苦手練習
第7回	43－49		総合トレーニング（タイムトライアル）
第8回	50－56	JNEC1級検定について	試験内容の確認、デモストレーション、プロダクツの理解
第9回	49－63	JNEC1級検定対策	フォーム理論、重合の仕組み、ミクスチュアについて
第10回	64－70		アクリルスカルプチュア
第11回	71－77		チップ・フォーム理論オーバーレイ
第12回	78－84		総合トレーニング
第13回	85－91		JNEC1級対策、ミックスメディアアート
第14回	92－98		苦手練習
第15回	99－105		総合トレーニング

初回持ち物	ハンドを含む道具一式

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ネイル検定対策			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	135 時間	1年合計単位	135 時間
2年単位	前期	105 時間	後期	120 時間	2年合計単位	225 時間
担当講師	平光 真理					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	・公益財団法人 日本ネイリスト試験センター（JNEC）1級 内容習得 ・NPO法人 日本ネイリスト協会　ジェルネイル技能検定試験中級、上級内容習得					
到達目標	爪に関する専門的な知識を身につけ、カウンセリングが実践出来るよう、専門知識の幅を広げることを目標とし、技術と知識のバランス力をつける。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－8	JNEC1級検定対策	総合トレーニング、試験前仕込み
第2回	9－16	上級検定について	試験内容の確認・デモンストレーション
第3回	17－24	JNAジェル検定上級対策	フォーム理論
第4回	23－32		ジェルスカルプチュア、ジェルチップオーバーレイ
第5回	33－40		フレンチ、フラワーアート
第6回	41－48		総合トレーニング
第7回	49－56		総合トレーニング（タイムトライアル）
第8回	57－64		苦手練習
第9回	65－72		総合トレーニング（タイムトライアル）
第10回	73－80	苦手総合	総合トレーニング（タイムトライアル）
第11回	81－88		総合トレーニング（タイムトライアル）
第12回	89－96		総合トレーニング（タイムトライアル）
第13回	87－104		総合トレーニング（タイムトライアル）
第14回	105－112		総合トレーニング（タイムトライアル）
第15回	113－120		総合トレーニング（タイムトライアル）

初回持ち物	初回は2級検定道具一式

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	イクステンション			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	45 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位	前期	45 時間	後期	90 時間	2年合計単位	135 時間
担当講師	平光 真理					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	ネイル技術の中で最も難度の高い、爪の造形であるイクステンション技術をアクリル素材及び、ジェルを用いて理想的なフォルムを作ることができる。					
到達目標	○公益財団法人 日本ネイリスト試験センター（JNEC）1級 ○NPO法人 日本ネイリスト協会　ジェルネイル技能検定試験上級　　取得を目指す					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	イクステンションとは	イクステンションの基礎理論 各種スタイルについて、人工爪を理解する
第2回	4－6		
第3回	7－9	ジェルイクステンション初回	ジェルイクステンションについて、プロダクツの理解
第4回	10－12	ジェルスカルプチュア トレーニング	フォームの扱い、重合、ピンチング けずり、強度のあるフォルム 総合トレーニング
第5回	13－15		
第6回	16－18		
第7回	19－21	アクリルスカルプチュア初回	各種スタイルについて
第8回	22－24	アクリルスカルプチュア トレーニング	フォームの扱い、重合 ミクスチュアについての理解 ピンチング、強度があり美しいフォルム
第9回	25－27		
第10回	28－30		
第11回	31－33		みがき、ファイルの扱い方
第12回	34－36		
第13回	37－39	サロンスタイル イクステンション	サロンワークスタイルのイクステンションを 理解する
第14回	40－42		
第15回	43－45		

初回持ち物	初回、ジェル道具一式

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	イクステンション			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	45 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位	前期	45 時間	後期	90 時間	2年合計単位	135 時間
担当講師	平光 真理					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	ネイル技術の中で最も難度の高い、爪の造形であるイクステンション技術をアクリル素材及び、ジェルを用いて理想的なフォルムを作ることができる。					
到達目標	○公益財団法人 日本ネイリスト試験センター（JNEC）1級 ○NPO法人 日本ネイリスト協会　ジェルネイル技能検定試験上級　　取得を目指す					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－6	アクリルイクステンション ・スカルプチュア ・チップオーバーレイ	プロダクツコントロールを理解する
第2回	7－12		フォーム・チップ装着のための理論
第3回	13－18		理想的なフォルム・Cカーブ・ハイポイントを確認する
第4回	19－24		総合トレーニング（タイムトライアル）
第5回	25－30		
第6回	31－36	リペア	ナチュラルネイルのように自然に見せる フォルムをつくる
第7回	37－42		
第8回	43－48	ネイル材料学 ジェル・アクリル理論	重合の仕組み 安全にアクリル材料・ジェルネイルを使用するための知識等
第9回	49－54	ジェルイクステンション	ジェルイクステンションに必要なフォーム・チップ理論
第10回	55－60		総合トレーニング（タイムトライアル）
第11回	61－66	アクリルイクステンション ・サロンスタイル	サロンで人気のネイルフォルムを作る
第12回	67－72		
第13回	73－78	期末課題・FUS作品作成	アクリル・ジェルを自由に使用し、オリジナル作品を完成させる
第14回	79－84		
第15回	85－90		
初回持ち物	1級教材一式		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	アート			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	45 時間	後期	45 時間	2年合計単位	90 時間
担当講師	吉橋　友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	様々なネイルアートの技法を学び、高度な作品表現をしていきます。 基礎から応用テクニックまでを習得し、サロン運営で求められる色の選択や最適なデザインの提案ができることを目標としています。					
到達目標	JNEC１級の試験課題でもあるミックスメディアアートをテーマに沿って、自由に表現できる					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	JNAテクニカルシステム　ベーシック　・JNAテクニカルシステム アドバンス					

＜授業計画＞		前　期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－3	カラーリング	肌色にあった色を選び、塗る（ポリッシュアート）
第2回	4－6	色彩学	12色相環をつくり、色の基礎知識を学ぶ
第3回	7－9	ジェルアート	ドラックアートバリエーション
第4回	10－12		マーブル・タイダイ・グラデーション
第5回	13－15		フレンチ・変形フレンチ
第6回	16－18		チェック・ツイード
第7回	19－21		オリジナル作品作成①
第8回	22－24		オリジナル作品作成②
第9回	25－27		オリジナル作品作成③
第10回	28－30	エンボス	お花
第11回	31－33		お花（5枚花）
第12回	34－36		お花バリエーション
第13回	37－39	3Dアート	お花（5枚花）
第14回	40－42		ミックスメディアアート
第15回	43－45		

初回持ち物	初回は2級検定道具一式

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	アート			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	45 時間	後期	45 時間	2年合計単位	90 時間
担当講師	吉橋　友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	様々なネイルアートの技法を学び、高度な作品表現をしていきます。 基礎から応用テクニックまでを習得し、サロン運営で求められる色の選択や最適なデザインの提案ができることを目標としています。					
到達目標	JNEC１級の試験課題でもあるミックスメディアアートをテーマに沿って、自由に表現できる					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	JNAテクニカルシステム　ベーシック　・JNAテクニカルシステム アドバンス					

＜授業計画＞		後　期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－3	JNEC1級アート	3Dアートをメインにフラットアート、エンボスアートを組み合わせ時間内に完成させる
第2回	4－6		
第3回	7－9		
第4回	10－12		
第5回	13－15	ジェルアート	サロンワークで必要なジェルアート技術 （マーブル、フラワー、ビジューアートなど）
第6回	16－18		
第7回	19－21	ジェルデザイン スカルプチュア	JNAジェル検定上級のデザイン、カラーを決める
第8回	22－24		理想的なフォルムで時間内に仕上げる
第9回	25－27		
第10回	28－30	ジェルネイル	総合トレーニング（タイムトライアル）
第11回	31－33		
第12回	34－36	デザインスカルプ	グラデーション
第13回	37－39	期末課題 FUSの作品をつくる	テーマに沿ってオリジナル作品を完成させる （ヘアメイク・衣装も）
第14回	40－42		
第15回	43－45		
初回持ち物	１級教材一式		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ネイルサロン運営			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	90 時間	2年合計単位	105 時間
担当講師	吉橋　友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	学内サロン運営を目的とした実習授業です。授業内では実際のサロンと同様にお客様をお迎えしてからのｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ、技術の提供、再来店への誘導などを一連の流れに沿って実践します。実際のサロンを運営することで社会性と実践力を身に付けます。					
到達目標	ネイリストとして少しでも早く戦力になれるように、カウンセリング力と技術を身につける					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	ネイルサロンとは	①ネイルサロン
第2回	2		②ネイリストの働き方
第3回	3		③サロンワークとは
第4回	4	接客について	④オフの手順
第5回	5		⑤カウンセリングについて（1）
第6回	6		⑥カウンセリング（2）
第7回	7	サロンワーク アート	⑦～⑫サロンで使えるアートワーク
第8回	8		
第9回	9		
第10回	10		
第11回	11		
第12回	12		
第13回	13	サンプル作成	⑬～⑮5枚組チップ作成
第14回	14		
第15回	15		

初回持ち物	使用教材一式・前期使用ノート

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ネイルサロン運営			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	90 時間	2年合計単位	105 時間
担当講師	吉橋 友菜					
	実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要	学内サロン運営を目的とした実習授業です。授業内では実際のサロンと同様にお客様をお迎えしてからのｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ、技術の提供、再来店への誘導などを一連の流れに沿って実践します。実際のサロンを運営することで社会性と実践力を身に付けます。					
到達目標	ネイリストとして少しでも早く戦力になれるように、カウンセリング力と技術を身につける					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		後 期	
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－6	サロンの仕組み	店の運営、料金設定・仕入れ、店の動線、役職を決めてロールプレイング
第2回	7－12	作品作り	定額制デザインの作成 写真撮影（SNS宣伝用、店のデザイン）
第3回	13－18		
第4回	19－24		
第5回	25－30	相モデル練習	相モデルとなり、接客から施術の練習
第6回	31－36		
第7回	37－42	第1回～3回までの復習	第1回～3回の復習　5種対応できるようにする 1. ハンドケア・マッサージ　2. ネイルケア・カラーリング 3. ジェルネイル　4. リペア　5. ジェルオフ
第8回	43－48	相モデル練習	相モデルとなり、接客から施術まで一連の流れを練習
第9回	49－54		
第10回	55－60	サロン運営①	親族・友人対象の施術
第11回	61－66	サロン運営②	
第12回	67－72	サロン運営③	サロン運営本番　1回目
第13回	73－78	サロン運営④	サロン運営本番　2回目
第14回	79－84	サロン運営⑤	サロン運営本番　3回目
第15回	85－90	サロン運営⑥	サロン運営本番　4回目

初回持ち物	使用教材一式、前期使用ノート 一週目(初回)のみ2コマ授業

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	和装着付け			クラス名	P2F	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	30 時間	後期	－	2年合計単位	30 時間
担当講師	浅岡 久美・吉永 由					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティスト、着付け師の立場から、撮影、ブライダル、スタジオでの経験をふまえ、ヘアアレンジと着付けの基本を伝える。			
目的及び概要	浴衣の着付けを基礎から学び、最終はモデルに施すことと浴衣に合わせたヘアアレンジを施し和装のコーディネイトを学びます。 和装を学ぶことで和のネイルデザイン技術を向上させることを目的としています。					
到達目標	浴衣の着付け、ヘアアレンジを人にも自分にもできるようになるのが目標です。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1・2	着物の基礎知識	小物について、着物の部位、たたみ方など
第2回	3・4	浴衣の着付け1	浴衣の着せ方、腰ひもの締めかた
第3回	5・6	浴衣の着付け2	浴衣の着せ方、帯の締めかた
第4回	7・8	浴衣の着付け3	復習
第5回	9・10	浴衣の着付け4	帯の結び方（応用）
第6回	11・12	ヘア	コテの使い方、ピン打ち
第7回	13・14	浴衣の着付け（自装）1	浴衣の着方
第8回	15・16	浴衣の着付け（自装）2	復習
第9回	17・28	ヘアアレンジ1	編み込み、コテ復習
第10回	29・20	浴衣の着付け復習	相モデル
第11回	21・22	ヘアアレンジ2	浴衣に合うアップスタイル
第12回	23・24	期末テスト練習1	浴衣着付け、たたみ方、復習
第13回	25・26	期末テスト練習2	〃
第14回	27・28	期末テスト	浴衣着付け、たたみ方
第15回	29・30	ネイルデザイン	浴衣に合わせたネイルデザインを考える

初回持ち物	筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				